

(毎月1日発行、創刊号平成23年4月11日)



復興ニュース

141号
2016年
1月1日

2016

明けまして おめでとう ございます!!



※写真は吉浜湾から昇る朝日 高木馨撮影

＝新年のご挨拶＝

昨年中は夢ネット大船渡の事業へのご支援・ご協力を頂き、心からお礼を申し上げます。今年も夢ネット大船渡結成10周年を迎えます。

気仙地域初のNPO中間支援組織、そして被災地のNPO法人としてこの10年間を振り返り、今後のNPO活動の躍進につながる年にしたいと決意しています。

合わせて復興ニュースが今年10月の発行にて150号となります。被災地の一つの復興記録誌となります。今後は心の復興へお役に立つよう努力して参ります。今年も皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

夢ネット大船渡 理事長 岩城恭治

三陸鉄道カレンダー販売中!

三陸鉄道盛駅ふれあい待合室では、2016年三陸鉄道卓上カレンダーを販売しています。1部500円(税込)。

三陸鉄道南リアス線運転士の佐々木光一さんが撮影した四季折々の写真がたくさん掲載されています。

ぜひ、お求めください!





今は撤去された綾里の黒土田仮設住宅
での手芸講習会（2013年12月）

手芸講習に参加している 皆さんの声を紹介します

NPO法人夢ネット大船渡では、2012年4月から仮設住宅などで手芸講習を開催しています。講師は千葉ミチ子さんと村上ミキ子さんの2人です。

千葉さんと村上さんは皆さんに楽しんでもらえるよう、毎回講習内容を考え、作品の下準備に励んでいます。さらに2015年からパート6人を雇用し、災害公営住宅でも手芸講習を開催しています。

手芸講座に参加している皆さんから、喜びの声が届きましたので紹介します。

▼夢ネット大船渡さんが来るっていうと、とても楽しみになる。先生2人がいつもお茶も飲まずに、必死にみんなに手芸を教えてくれて。たいしたもんだと思ってね〜。毎回感心しているよ。いつもほとんど手伝ってもらってるんだけど、それでも完成したらうれしい。

鳥沢仮設 崎山礼子さんより

▼震災前後、生きて知る、今の幸せ ただ感謝

住田の中上仮設住宅に入居して早5年になりますが、皆さまに助けられて元気に生活しています。平成25年7月にNPO法人夢ネット大船渡の復興支援で中上仮設に来て『気仙椿のブローチ』の手芸講習をしていただき、その出会いから現在まで無欠席で参加しています。

以前は手芸には縁遠い生活を送っていた私ですが、その日以来、すっかり手芸にはまってしまいました。手芸に夢中になっていると、いろいろなわだかまりも忘れることが出来、月日がたつのが早く感じられます。今では月1回の夢ネット大船渡から派遣して来る千葉先生と村上先生が来るのが、待ち遠しいです。

当時とはだんだんと参加者も少なくなってきましたが、月1回の集まりが仲間との交流もかねて、手芸をしながら、笑って生活を送ることが出来ます。仮設での、**私たち高齢者の唯一の生きがい**でもありますので、今後もよろしくお願い致します。 中上仮設 及川ケイ子さんより



奥州市から3団体がクリスマスイベントで来訪!

奥州市水沢区の社会福祉法人『ひたかみ福祉会』など3団体によるクリスマスイベントが12月22日、大船渡市の轆轤石仮設と宇津野沢アパートの2か所で開かれました。

まず初めに、奥州市水沢区にある龍徳寺の宇津野則昭住職による東日本大震災犠牲者のための慰霊法要がありました。その後、演芸に移り、同法人が運営する就労継続支援B型事業所『ワークみずさわ』の皆さんによる、スコップを三味線に見立てた『スコップ三味線』演奏、演芸みなみ座の皆さんによる優雅な踊りが披露されました。

宇津野沢アパート自治会長の小松紀久代さんは「こうして皆さんからの励ましで、明日の生きる力につながっていく。本当にありがたい、楽しかった」と話していました。



仮設で拾ったお話を紹介します



・カラスの恩返し

昨年の初夏、赤崎町鳥沢仮設の皆さんが、電線に留まっているカラスとその下で鉄格子に足を挟みもがいている子ガラスを心配そうに眺めていました。世話好きのAさんは勇気を出して助けに行き、両足を挟んでいる鉄格子を広げようとしてしましたが素手では出来ず、何か鉄棒でも持って来るよう仲間に頼んで、何とか広げることが出来、子ガラスは飛び立ったそうです。すると電線に留まっていた親ガラスが「ありがとう」とお礼のように何度も何度も頭を下げるのでした。

これまで鳥沢仮設へ多くの支援者が来てくれた。何も返すものがないので「ありがとう」「ありがとう」と何度も頭を下げてお礼を言ってきた。カラスは被災者のお礼する姿を見て、学んだのでしょうか。新しい年、「ありがとう」との感謝の気持ちを持って暮らしたいとの結びでした。

・こうして生きていることに感謝

2011年3月11日の地震が起こる少し前、何か直感が働いたのか、いつも午後に行うサン・アンドレス公園への散歩を止めたところだった。するといきなり大きい地震があった。揺れが収まり家の物を片付けていると自治会長さんらが一生懸命声を枯らして『津波が来る！避難しろー』と走り回っていた。

避難するつもりはなかったが、こんなに一生懸命叫んでいるのだから、言うことを聞いてみようと思い、大船渡地区公民館に避難した。まさかこんな大きい津波がくるとは思わなかった。家は骨組みだけ残して流された。

小学校の頃は戦時中で、突然来襲する艦載機から逃れるために麦畑に身を隠した。今の子供たちには考えられないことだろうけど、70年前の日本であったことだ。

その後も色々人生あったけど、こうして大病もなく生きていることに日々感謝している。

・小さい仮設での苦勞を乗り越え

震災で家を流され、その後は内陸の旅館に避難した。その後、小規模の仮設住宅へと移った。近所の人たちも“てんでん”にちらばって、行方が分からなかった。

大きい仮設と違い、物資が届かないことは困った。大きい仮設ばかりで小さい仮設には物資が回ってこない。大きい仮設に住む友人から『まだ物資余っているよ』と聞かされた時に悲しくなった。物がないので、恥ずかしさを忍んで物資をもらいに大きい仮設を回った。

今年、公営住宅に移る予定。また陸前高田市にたくさん子供の声が聞こえるようになってほしいと思う。

大船渡市に結婚相談所が出来ました！



12月12日、大船渡市の猪川町に大船渡市公設の大船渡市結婚相談・支援センター（前野純一センター長）が開所しました！

会員登録制のマッチング（お見合い）により、出会いや結婚を希望する独身の方々を応援します！

大船渡市にお住まいかお勤めの方、または市外（県外を含む）にお住まいでも結婚を誠実に希望し、自ら努力される20歳以上の独身の人が入会できます。

希望者は必要書類を持参して、会員登録の手続きを行います。入会後はお相手を検索し、会ってみたい相手が承諾すれば、センターでお見合いが行われます。その後、お互いに交際の意志が確認された場合、それぞれの連絡先をお知らせし、交際スタートとなります。相談も気軽に受け付けています。

住所：大船渡市猪川町字久名畑1-36

電話：0192-22-7582（完全予約制です。来所前にお電話を）

定休日：毎週火曜日、祝日、年末年始

開所時間：平日10:00~13:00 14:00~19:00

土日 9:00~12:00 13:00~18:00

入会金：5000円 登録料：10000円（3月31日まで入会金、登録料 無料）

三鉄盛駅ふれあい待合室からのご案内 TEL0192-47-3542

◆三鉄 駅からウォーク 《申し込み必要》

1月16日(土) 9:00に三鉄盛駅集合
9:20盛駅発一盛駅周辺一12:00盛駅着
今回は初詣ウォーク!! 吉野森神社、
天神山公園、洞雲寺、貴船神社(約4キロ)
参加は無料です 締め切り1月13日(水)

貸し切り列車など
利用申し込みは
三鉄盛駅へ!

◆無料法律相談 《申し込み必要》

1月17日(日) 10:00~13:20
弁護士が無料で相談に応じます。税務相談も受け付けております。
相談時間は1人40分です。仮設住宅など訪問相談も承ります。

◆新春お楽しみ列車

1月10日(日)、1月11日(月・祝) 両日とも9:10に盛駅集合
9:40盛駅発一釜石駅一11:55盛駅着
参加費 大人:1000円 2歳以上から高校生まで500円 2歳未満は無料
お菓子やおもち、ビンゴゲームなど盛りだくさんの景品を用意しています。
ぜひご参加ください。締め切り1月8日(金)



今年の干支・申(さる)の手芸品を作りました

この手芸品の作者は、陸前高田市米崎町で被災しご主人を亡くされた方で、昨年11月に中田団地へ入居した方です。

佐野仮設で約4年間暮らしました。この間、夢ネット大船渡の内職支援「こしゃる三陸」へ参加して手芸品を作りました。

手芸品づくりの際は、被災の辛い事も忘れ、夢中になることが出来てありがたい。また、次に何を作ろうか考えるのも楽しい。新しい年、干支を作ろうと思いつき、チリメンを使って作り、色紙に貼りつけたもの(写真参照)です。

神戸・東灘区を訪れて

神戸市の中心、三宮駅から電車に乗り、魚崎駅で下車。歩いて10分ほど、住宅街の一角に阪神・淡路大震災の被災者が入居する災害公営住宅があった。あるおばあちゃんと話をした。長年、団地のまとめ役を担ってきたが、近ごろ体調を崩し、思うように動けないらしい。東北から来た私に、とても驚いていた。『東北の人もなあ、無理したらアカンよ。なるようにしかならん』と言っていた。2人目のおばあちゃん。杖をついていたが、とっても元気。『ここの団地なあ、みんな高齢になってきて、体調悪い人も多い。若い人が継いだら、いいんやけどなあ〜!!』と豪快に笑っていた。

団地高層階から見える、神戸市中心街のネオン。そのきらびやかな光とは対照的な雰囲気映った。神戸市の市営住宅の入居者は高齢化、単身化が進んでいるらしいが、災害公営住宅では、殊更顕著であるという。(k)

~ご意見、ご感想をお寄せください~

短歌・俳句作品も募集しています。

◎どなたでも応募可能です。

◎電話、メール、封書でお寄せ下さい。

送付元: NPO 法人夢ネット大船渡

*〒022-0003

大船渡市盛町字内の目14-15

*TEL/fax 0192-47-3271

*メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp

この復興ニュース発行には
岩手県福祉基金からの助成と
MS&ADゆにぞんスマイルクラブ
NPO 法人美山まちづくり NPO
(福井県福井市)
のご寄付を受けています。